

試合番号 : 227		試合会場 : このはアリーナ (草薙総合運動場体育館)				観客数 : 1,100			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:13		試合時間 : 02:13		主審 : 服部 篤史		副審 : 浅井 唯由	
東レアローズ		通算 17勝 9敗 ポイント : 45		25 第1セット 20		東京グレートベアーズ		通算 6勝 20敗 ポイント : 19	
監督コメント	今日の試合も、昨日同様フルセットと苦しい試合となりましたが、しっかりと勝ち切れたのは良かったと思います。各セットの入りには課題はありましたが、昨日の修正点を修正し、集中して臨むことが出来ました。負けられない戦いが続きますが、一戦一戦チーム一丸となって、最後まで戦い抜きます。リリフサーブの活躍は、ここからの終盤での戦いにおいて大きな武器となります。各自がチームのためにハードワークを続けていきます。最終大浜での試合も応援よろしくお願いします。			25 第2セット 17		監督コメント	今日の試合ではあと一歩及びみせましたが、2セットダウンの状況で且つ相手のペースの中、非常に厳しい展開でしたが、チームが素晴らしい闘志を見せてくれたことを誇りに思います。来週以降も難しい試合が続きますが、毎試合成長できるようにチームで戦っていきたくと思います。本日も沢山の応援ありがとうございます。		
				21 第3セット 25					
				22 第4セット 25					
				15 第5セット 13					
				3 0					
要約レポート 第1セット、東レアローズは富田、バダル、東京グレートベアーズは張、アラウージョを中心とした攻撃で混戦模様となる。東しは富田のサービスエースで勢いづき、バダルのスパイク、高橋のブロックで一歩リードし、選手交代で入ったルーキー重藤や、上條もスパイクを決めてこのセットを先取した。第2セット、東しは上條がサービスエースや速攻を決めてムードを盛り上げると、富田が安定したサーブレシーブとブロックで得点に貢献し、リードを奪う。一方、東京GBは終盤に選手交代した長友がスパイクとブロックを決めて連続得点し、流れを掴もうとするが、東し重藤がブロックを決めると、最後はバダルがサービスエースでこのセットを締めくくり、連取した。第3セット、後がない東京GBはバロ古屋の正確なサーブレシーブから張、アラウージョがスパイクで得点すると、対する東しもバダルの息を吹き返したかのようなスパイクで応戦し接戦が続く。東京GBは張のクロススパイクで一歩リードすると、一気に3人の選手交代で終盤戦に挑む。東しは高橋のブロックで2点差まで詰め寄るもの、東京GBがこのセットを奪い返した。第4セット、中盤まで接戦となり、東京GBはアラウージョの強烈なスパイクでリードすると、3人メンバーチェンジして終盤を迎える。東しは富田がコースを奪ったスパイクを決めて1点差とするもの、最後は東京GBアラウージョがブロックでバダルを止めてフルセットに持ち込んだ。第5セット、東しはこの試合で400試合出場を達成した米山がスパイクを決めると、バダルのスパイク、高橋のブロックで量みかけ、リードを奪う。対する東京GBも、武藤のブロック、笠川のサービスエースですぐに同点に追いつき、接戦となる。東しは途中交代で入った重藤がブロックを決めてチームを盛り上げ、食い下がる東京GBにバダルのスパイクで決着をつけ、接戦に勝利した。									
試合番号 : 228		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,525			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:27		試合時間 : 01:27		主審 : 本間 明		副審 : 中山 健	
ウルフドッグス名古屋		通算 20勝 6敗 ポイント : 57		25 第1セット 15		大分三好ヴァイセアドラー		通算 3勝 23敗 ポイント : 9	
監督コメント	2日間にわたり、エントリオでのホームゲーム開催にご尽力いただいた皆様、本当にありがとうございました。昨日の試合において、まだまだ納得のいかないプレーがあったので、本日の試合では何となく修正して、勝利を勝ち取りたい一心で臨んだ1戦でした。相手チームのプレーも素晴らしいと思いますが、我々の粘りのプレーで相手を上回れたことが一番の勝因だと思いますし、大切な1戦をチーム一丸となって勝利できたことが本当に嬉しく思います。ここからの1戦1戦はさらにタフな戦いが続きますが、先のことは考えずに目の前の1点・1球を大切に、残りの試合を戦い抜きます。時にはチームが苦しい場面もあると思いますが、最後まで戦う気持ちを持ち続けるのは、ホームゲームに足を運んで、声援を我々に送ってくださるファンの皆様がいることです。			25 第2セット 12		監督コメント	第1、第2セットはサーブレシーブが崩され、自分たちのサイドアウトが上手くいきませんでした。第3セットはアウトサイドを代え、ディフェンスを固めましたが、後半に突き放され、セットを取るできませんでした。来週はもう一度大切な試合です。全員でハードワークして勝利を目指して頑張ります。		
				25 第3セット 18					
				0					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート ウルフドッグス名古屋のホームに大分三好ヴァイセアドラーを迎えての2戦目。第1セット、井口はモゲン、カンタパットにトスを集め、WD名古屋・前田はミドルブロッカーを絡めた対照的なトス回して試合が進む。大分三好はモゲニのブロックを大きくはじき飛ばすアタックが要所で決まり、流れを引き込もうとするも、直後にWD名古屋・傳田がコート中央に突き刺さるアタックを決めるなど、流れを渡さないWD名古屋がセットを先取した。第2セット、WD名古屋は7-5から前田、傳田のブロックポイント3本を含んだ6連続ポイントで点差を広げる。さらに攻撃面でも山崎のバックアタックや王のアタックなどセンターからの攻撃で、得点を重ねたWD名古屋がセットを連取した。第3セット、大分三好は安部、山田やこのセットからスタートで入った小野ヘトスを散らし、得点を積み重ねる。しかし、大分三好・安部のジャンプサーブをクレクがレセプションして自分で決め切るなど会場が盛り上がるプレーが多く出たWD名古屋がこのセットも取り、試合に勝利した。									
試合番号 : 229		試合会場 : 日本製鉄堺体育館				観客数 : 468			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:59		試合時間 : 01:59		主審 : 林 淳一		副審 : 沢田 元	
堺ブレイザーズ		通算 19勝 7敗 ポイント : 57		24 第1セット 26		VC長野トライデンツ		通算 1勝 25敗 ポイント : 6	
監督コメント	今日もしっかり勝ち切れたことはまず良かったと思います。各セットの入りには課題はありましたが、昨日の修正点を修正し、集中して臨むことが出来ました。負けられない戦いが続きますが、一戦一戦チーム一丸となって、最後まで戦い抜きます。リリフサーブの活躍は、ここからの終盤での戦いにおいて大きな武器となります。各自がチームのためにハードワークを続けていきます。最終大浜での試合も応援よろしくお願いします。			25 第2セット 19		監督コメント	昨日の反省を活かし、本日の試合スタートから良い集中力を持って戦うことが出来た。第2セット以降、堺ブレイザーズさんの強いサーブに苦しめられ、自チームのコンビバレーをさせてもらえなかった。2日間を通じて、ここぞという時の決定力の差がはっきり出た試合になった。ブロック、ディフェンスが向上しているの、最後の決定までしっかりと持って行くことが次の課題である。課題を克服できるよう、しっかりと準備をし来週の試合に挑みたい。2日間たくさんのご声援ありがとうございます。		
				25 第3セット 19					
				25 第4セット 18					
				1					
				第5セット					
要約レポート 堺ブレイザーズとVC長野トライデンツの最終戦は白熱した一戦となった。第1セット、VC長野・波佐間のスパイク、ブロックと決まり、連続得点から幕を開けた。堺は樋口、高野がスパイクを決めるも、VC長野はアラウージョがサービスエース、池田(幸)がスパイクを決め、得点差を広げる展開へ。中盤、塚・バーノン、樋口がスパイクを決め、出場からのブロックで逆転する。一進一退の攻防を繰り返す両チーム。先に抜け出したのはVC長野。最後は中村がスパイクを決めてセットを先取する。第2セット、序盤から堺のペースで試合が進む。山本の好レシーブから樋口のスパイクや高野がブロックを決め、このセットを奪い返す。第3セット、堺が序盤から試合の流れを掴む。深津のサービスエース、竹元、バーノンのブロックが炸裂。対するVC長野は三輪、波佐間のスパイクで応戦するが、流れを渡さないまま堺がセットを連取する。第4セット、後がないVC長野は途中交代したセッター椿がトスを散らし、堺のブロック陣に的を絞らせない粘りを見せるが、徐々に堺・樋口、高野、バーノンとブロックを決めはじめると、波に乗る樋口のサービスエースで一気にかたみ掛け、最後は出菜田が速攻を決め勝利を取った。									
試合番号 : 230		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,971			
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:40		試合時間 : 02:40		主審 : 千代延 靖夫		副審 : 栗崎 慎太郎	
パナソニックパンサーズ		通算 16勝 10敗 ポイント : 51		25 第1セット 19		ジェイテクトSTINGS		通算 15勝 11敗 ポイント : 49	
監督コメント	素晴らしい試合でした。お互い良いプレーをしていて白熱した試合でした。途中出場した選手、特に西山選手が大活躍しました。チーム全員で取った勝利だと思います。来週も大事な試合が続くので、応援よろしくお願いします。			25 第2セット 27		監督コメント	まずは粘り強いプレーを見せたパナソニックを讃えたいと思います。負けしまったことは残念ですが、来週に向けて準備をしていきたいと思っています。いつも多くの応援ありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。		
				26 第3セット 24					
				18 第4セット 25					
				15 第5セット 13					
				3 2					
要約レポート ファイナル4進出に向けて何としても勝ち星をあげたいパナソニックパンサーズとジェイテクトSTINGSの試合は終始白熱した激戦となった。第1セット、序盤から一進一退の両者譲らぬ展開となる。中盤パナソニックは、大塚のサービスエースから流れを掴み、大竹やクビヤクのスパイクで得点を重ねセットを先取する。第2セット、終盤まで1点を争う攻防が繰り返され、ペースにまでもつれ込む接戦となったが、西田にボールを集めたジェイテクトがセットを奪い返す。第3セット、序盤から山内がブロック、サーブ、スパイクと活躍を見せると、スタートから大竹に代わって入った西山がスパイクを要所に決めてリードする。ジェイテクトは、終盤西田のサービスエース、強4セット、後になくなったジェイテクトは、セッター・関田の的を絞らせない巧みなトスワークから多彩な攻撃でリードすると、西田の勢いが止まらずそのままセットをものにし、勝負は最終セットに持ち込まれた。迎えた第5セット、パナソニックはエバデダンのブロックや大塚のスパイクで得点を重ねる。ジェイテクトも柳田のサービスエースや西田のスパイクで追いつくが、最後は西田のサーブがアウトとなり、パナソニックが会場の大声援の中、見事ホームで勝利を飾った。									